

『北陸防災情報通信セミナー』を開催

～防災に向けた取組みと災害に向けた備え～

総務省北陸総合通信局（局長 山田 和晴）は、平成30年12月10日（月）、金沢東急ホテルにおいて「北陸防災情報通信セミナー」を開催しました。

セミナーには、国や地方公共団体などの防災関係機関、電気通信事業者、放送事業者など約100名の参加がありました。

開会にあたり、山田局長から「日本全国どの地域においても、いつ災害に見舞われるかわからない状況の中、災害の被害を最小限に食い止めるには、情報の的確な収集と迅速な伝達がまさに命綱であり、非常災害時における通信の必要性や通信ルートの確保について認識を深める必要がある。」と挨拶しました。



【講師の梨木司令】

講演

講演では、陸上自衛隊 梨木 信吾 第14普通科連隊長兼金沢駐屯地司令から「陸上自衛隊の現状と課題」と題し、陸上自衛隊の防衛構築・態勢の在り方及び即応機動を目指した体制改革や国内での災害派遣の活動状況のほか、北陸地方で起こりうる災害とそれに備え地元の地形を知り尽くすことの重要性、また、災害派遣された際に隊員の士気を高めるための対応など、陸上自衛隊としての取組みや今後の目指すべき方向について紹介がありました。

次に、富山県総合政策局 防災・危機管理課 福山 達也 危機管理調整主幹から、「自治体の危機管理について」と題し、他県の被災地へ応援派遣された実体験を踏まえ、『自分だけは大丈夫』『まさか自分の身には起こるわけがない』など過小に評価する人間の心理の危うさと、日頃から災害時を想定した訓練の重要性など、危機意識の重要性と危機管理の考え方、応援職員の派遣の在り方や富山県における危機管理について紹介がありました。

最後に、岩手県立大学研究地域連携本部 柴田 義孝 特任教授から、「防災に向けた取組みと災害に向けた備え～東日本大震災からの教訓～」と題し、東日本大震災や熊本地震などの大規模災害時における情報通信の必要性・重要性について、これまでの研究・分析結果をもとに、具体的な情報収集の方法・手段や災害発生時の対応として平時から備えるべき有効な情報通信手段について紹介がありました。



【講師の柴田特任教授】



【講師の福山主幹】

＜お問合せ先＞
無線通信部陸上課
電話：076-233-4480